

平成26年度 私立学校初任者研修小学校西日本地区研修会 実施報告(概要)

小学校の初任者教員を対象とした同研修会は、7月30日(水)から8月1日(金)の3日間大阪ガーデンパレス(大阪府大阪市)で34名の参加者で開催された。

開会式では、主催者及び西日本私立小学校連合会大谷彰良会長から3日間の短い研修ではあるが私立学校教員としての心構えについて学んで欲しいとの挨拶がされた。

開会式に続き「私学の教師として」と題し、前仁川学院小学校校長の小田富也先生より私立学校の存在、また私学の教師の在り方についてご自身の体験を通じた講義がされた。

研修2では「社会人として—あなたが目指す先生は—」と題して、ホテルオークラ神戸の研修担当中田聖子マネージャーによる社会人として、第一印象の大切さとしての挨拶、笑顔、身だしなみ、言葉遣い等について実習を行いながら講義が行われた。講義終了後、参加者及び役員等を交えた経験交流会では、早速、実習として参加者が自己紹介行った時の各人の立ち振る舞いなどにアドバイスいただくなど実践的講座の場となった。

2日目は、「学級づくりはここがポイント」と題して、四條畷学園小学校の赤松義彰先生の講義が行われ「考えてみましょう—あなたはこの初任者研修会で、どんなことが知りたいですか、またどんなことができるようになりたいですか。」などのテーマを参加者がそれぞれ書き出すなどのワークショップを交えての講座であった。

引き続きの講義では元目黒星美学園小学校校長の大森隆實先生から、私立の小学校に求められること、それに応えるには、子どもや親が安心できる学級経営など先生の現職時代の事例を示した講演がされた。

午後からは実技を伴う講座として、大久保ヨガ正食禅大久保邦彦主宰による「小学生だからやってほしい視力回復のヨガでは、ヨガの基本的考え方に基づき視力回復についての指導がされた。

さらに「楽しい体育指導」として体育の実技指導を3名の指導員、追手門学院小学校福山東人教諭、ノートルダム学院小学校綾田満成教諭、帝塚山学院小学校磯部晋吾教諭の3名の指導の下、集団行動やゲームを取り入れた実技に取り組んだ。

夕食後には、低学年、高学年、専科の3グループに分かれてのグループ討議が行われ、運営委員の指導のもと指導上の悩みなどについて討議された。

最終日となる3日目は、大阪大学大学院金澤忠博教授による「発達障がいの特徴の理解と具体的な対応」について発達障がいの特性の説明、基本的動作における具体的な事例を示し、発達障がいへの理解を学ぶ講演であった。

その後、分科会報告、西日本私立小学校連合会大谷彰良会長による研修のまとめ、閉会式では修了証書が参加者に授与され、3日間の研修を終了した。

